



# 令和2年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年8月8日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス  
コード番号 3753 URL <https://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 令和元年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	321	19.0	213		223		223	
31年3月期第1四半期	270	55.3	135		120		121	

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 222百万円 ( %) 31年3月期第1四半期 122百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	23.68	
31年3月期第1四半期	12.81	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	1,329	124	9.4	13.21
31年3月期	894	347	38.9	36.77

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 124百万円 31年3月期 347百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
31年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		0.00		0.00	0.00
2年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	146.1	50		45		35		3.70
通期	3,400	139.1	400		390		290		30.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期1Q	9,456,500 株	31年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2年3月期1Q	912 株	31年3月期	912 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期1Q	9,455,588 株	31年3月期1Q	9,455,639 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境や個人消費に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いているものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高321百万円（前期比19.0%増）、営業損失は213百万円（前年同期は営業損失135百万円）、経常損失は223百万円（前年同期は経常損失120百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は223百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失121百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 (連結)	前第1四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	94	205	△111	△54.1%
サービス事業	191	36	155	426.6%
ECソリューション事業	35	28	6	24.0%
調整額	—	—	—	—
売上高	321	270	51	19.0%
C&S事業(*)	△64	16	△80	—
サービス事業	△59	△68	9	—
ECソリューション事業	△6	△0	△5	—
調整額	△82	△81	△1	—
営業損益	△213	△135	△78	—
経常損益	△223	△120	△102	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△223	△121	△102	—

(\*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システムリニューアル支援及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

前期に大口売上があった反動により、減収減益となっております。

以上の結果、売上高は94百万円（前年同期比54.1%減）、営業損失は64百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

②サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション（「Incredist」、「Incredist Premium」、「Incredist Trinity」及び「ペイメント・マイスター」）の開発及び販売に注力いたしました。

当期に「Incredist Premium」の大型納品があったことにより、増収となっております。

以上の結果、売上高は191百万円（前年同期比426.6%増）、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

③ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

売上は概ね計画通り進捗しておりますが、新機能のOCRソリューションの開発費用により、営業利益は減益となっております。

以上の結果、売上高は35百万円（前年同期比24.0%増）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ435百万円増加し、1,329百万円となりました。主な増減要因は、前渡金の増加（450百万円増）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ657百万円増加し、1,204百万円となりました。主な増減要因は、借入金の純増加（434百万円増）、前受金の増加（213百万円増）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ222百万円減少し、124百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（223百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月15日の「平成31年3月期 決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	332,591	225,618
売掛金	129,212	66,133
商品	97,022	105,656
原材料及び貯蔵品	19,581	8,698
仕掛品	140,783	257,407
前渡金	43,856	494,751
その他	31,224	48,947
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	793,273	1,206,213
固定資産		
有形固定資産	31,468	55,936
無形固定資産	4,481	3,091
投資その他の資産	65,050	64,162
固定資産合計	101,001	123,190
資産合計	894,275	1,329,404
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,887	74,250
短期借入金	84,866	506,660
前受金	13,442	227,036
受注損失引当金	16,700	55,000
その他	57,679	101,062
流動負債合計	318,576	964,009
固定負債		
長期借入金	209,455	222,373
資産除去債務	14,916	14,916
その他	3,685	3,238
固定負債合計	228,056	240,527
負債合計	546,632	1,204,537
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△2,052,812	△2,276,758
自己株式	△1,360	△1,360
株主資本合計	346,749	122,803
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	892	2,063
その他の包括利益累計額合計	892	2,063
純資産合計	347,642	124,867
負債純資産合計	894,275	1,329,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	270,478	321,836
売上原価	234,469	335,940
売上総利益又は売上総損失(△)	36,009	△14,103
販売費及び一般管理費	171,092	199,230
営業損失(△)	△135,083	△213,333
営業外収益		
受取利息	362	-
為替差益	19,339	-
その他	238	28
営業外収益合計	19,940	28
営業外費用		
支払利息	5,389	3,246
支払手数料	24	6,250
その他	-	546
営業外費用合計	5,414	10,043
経常損失(△)	△120,556	△223,348
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,556	△223,348
法人税、住民税及び事業税	543	597
法人税等合計	543	597
四半期純損失(△)	△121,100	△223,946
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△121,100	△223,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純損失(△)	△121,100	△223,946
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,096	1,170
その他の包括利益合計	△1,096	1,170
四半期包括利益	△122,197	△222,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122,197	△222,775

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	205,301	36,448	28,729	270,478	-	270,478
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	205,301	36,448	28,729	270,478	-	270,478
セグメント利益 又は損失(△)	16,073	△68,880	△786	△53,593	△81,489	△135,083

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	94,283	191,918	35,634	321,836	-	321,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	94,283	191,918	35,634	321,836	-	321,836
セグメント損失 (△)	△64,762	△59,510	△6,220	△130,494	△82,839	△213,333

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。